

Meiji Seika ファルマ株式会社

2025 年 1 月 29 日

報道関係各位

中国におけるパーキンソン病治療薬「サフィナミド」の販売承認について

Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林大吉郎、以下「Meiji」）は、この度、パーキンソン病治療薬「サフィナミド」（一般名、中国における製品名：XADAGO®）について、サブライセンス先である Zambon S.p.A.（本社：イタリア・ミラノ、以下「Zambon」）が中国国家薬品监督管理局より販売承認を取得したのでお知らせします。中国における販売は Zambon の現地子会社が担当し、2025 年第 2 四半期に発売予定です。

サフィナミドは、Newron Pharmaceuticals S.p.A.（本社：イタリア・ミラノ、以下「Newron」）が創製したパーキンソン病治療薬です。同剤は、薬理作用としてドパミン作動性（可逆的 MAO-B 阻害）および非ドパミン作動性（グルタミン酸調節）の作用を有し、パーキンソン病症状の管理に有効な治療選択肢となっています。

Meiji と Newron は 2011 年にライセンス契約を締結し、日本および主要なアジア地域におけるサフィナミドの研究・開発・製造・商業化に関する独占的な権利が Meiji に許諾されました。Meiji は 2017 年、エーザイ株式会社（本社：東京都文京区）に対し、日本におけるサフィナミドの販売に関する独占的な権利、および中国を除くアジア 14 カ国/地域におけるサフィナミドの開発および販売に関する独占的な権利を再許諾しました。一方、Meiji は同年、中国（香港およびマカオを除く）におけるサフィナミドの研究・開発・製造・商業化および輸入に関する独占的な権利を Zambon に再許諾しております。

Meiji Seika ファルマは、サフィナミドが中国およびアジア地域のパーキンソン病患者治療に貢献することを切に希望しております。

以上